

令和5(2023)年度フロンティア入試 Type II 基本方針

理学部生物科学科 (高分子機能学専修分野)

趣 旨 ・ 目 的	<p>急速に変化する社会のなかで、今世の中に存在していない新しい方法論や考え方を生み出す力や、さらに新たに生まれる課題を見出し解決する力をもつ人材が強く求められています。このような中、基礎的な学力や技能、思考と判断力が重要なことは言うまでもありませんが、これに加えて、主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジしていく強い意欲が極めて重要です。</p> <p>本入試においては、このような観点に立ち、将来大学や社会での新しい価値の創造を目指し、新しい時代を生き抜く素養と、北海道大学で学びたいという強い意志を持つ学生を選抜することを目的とします。</p>
募 集 人 員	<p>3名</p> <p>※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜(後期日程)の募集人員に加える。</p>
求 め る 学 生 像	<p>以下の項目のいずれかに該当する学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学で課される課題を超えて自主性を育める基礎能力と意欲を有する人物 ・ 国際的視点を有し、物理・化学・生物の枠を超えて生命科学の課題に主体的に取り組める学際的人物
出 願 資 格	<p>次のいずれかの資格に該当すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ② 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者
出 願 要 件	<p>次のすべての要件に該当すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校等で「数学Ⅲ」、「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」のうち、「数学Ⅲ」を含む2つを履修している者 (理数科にあつては、「理数数学Ⅱ」、「理数物理」及び「理数化学」のうち、「理数数学Ⅱ」を含む2つを履修している者) <p>※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含む。</p> <p>※ 既卒者については、該当科目を履修した者と同等の学力を有する者を含む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ② 合格した場合、入学を確約できる者

選 抜 方 法

調査書, 個人評価書, 自己推薦書, 適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

調査書, 個人評価書, 自己推薦書により選考を行う。

なお, 配点は以下のとおりとする。

第1次選考	配点
調査書 個人評価書	70
自己推薦書	30

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して, 適性試験を課し, 面接を行う。

・適性試験: 基礎的な知識及び技能の他, 思考力及び判断力等を評価する。

適性試験では, 前半(60分)で数学の計算問題, 後半(120分)で数学及び理科(物理・化学)の論述問題を課す。

出題範囲は以下のとおりとする。

<共通問題>

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」, 「整数の性質」, 「図形の性質」, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」とする。)

<選択問題>

科目	出題範囲
数 学 50点 (100点×0.5)	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」, 「整数の性質」, 「図形の性質」, 数学Bは「数列」, 「ベクトル」とする。)
物 理 化 学 250点 (200点×1.25)	物理基礎及び物理 (「力学」, 「波動」, 「熱」, 「電磁気 ただし, 電磁誘導は除く。」) 化学基礎及び化学

・面 接: 主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジする強い意欲, 英語4技能, 及び生命科学に対する情熱と準備状況等を評価する。

なお, 適性試験及び面接の配点は以下のとおりとする。

第2次選考	配点
適性試験	450
面 接	300